〔畜産農家の声〕

フォーベルネット会員

津山市　井家上　淑子
（美作県民局畜産第一班）

私の住む津山市福井は、中国道津山インターや大型の郊外スーパー等のある所から車で東方面へ約１０分と、日々の生活には便利なところにありますが、住宅化もあまり進まず農業をするには、周囲をあまり気にする事もなく、のんびり暮らせる所です。

我家は昭和４７年に現在地で夫が酪農を開始しましたが、今年５月には還暦を迎えることになり、世間でいうところの定年退職という事で、昨年１０月３１日をもって、夫３６年勤続、私３３年勤続で酪農業から退職し、１１月１日から和牛繁殖農家へ２人で再就職いたしました。夫の誕生日の５月５日での退職をと思っていましたが、約７ケ月早期退職となりました。和牛の素牛は、ホルスタインの借腹でＥＴ産子の娘牛の自家保留を６年前からやっており、再就職への移行は、まあスムーズに行った様に思います。農業大学校で和牛を専攻した夫は、やっと念願であった和牛農家になれたことを喜んでおります。

３女１男の子育てからやっと手が離れつつも、今度は孫の守りに声がかかることもありますが、第２の子育てを和牛子牛に向けてみたいと思います。

夫は男ですから繁殖担当（？！）。今のところ若牛が多い事もあってか、繁殖成績はまあまあ。（ワシが朝夕、しっかり観察しとるからジャア！！）。生まれた子牛は実母である母牛に３月間おまかせ。その後、子牛市に出荷するまでが、継母の私の出番です。３０数年、乳牛の後継牛を育てて来た経験はほとんど役に立ちません。（私が下手くそなのですが）。毎日毎日、市の日に向けて努力を続けるのですが、なかなか結果が出なくて困っております。先輩農家の方々は元より関係の皆様にいろいろ教えていただきながら頑張りたいと思います。

和牛の「和」は「なごみ」と読みますよネ。和牛と共に和やかな日々を過ごせる農家を目標に生きたいと思います。

次回皆様に「岡山畜産便り」誌上でお目にかかるチャンスがある時には、今の私が成長している事を願いながら・・・・・。